

国公立医科大学長
国公立大学医学部長 殿
各 関 係 機 関 の 長

山形大学大学院医学系研究科長
上 野 義 之
(公 印 省 略)

外科学第二講座担当教授候補者の推薦について（依頼）

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、外科学第二講座担当教授の令和2年9月30日付け退職に伴い、後任の教授候補者を公募することとなりました。

ついては、貴機関又は関係機関において、心臓血管外科学を主とし、呼吸器外科学及び小児外科学に造詣の深い適任の方がおられましたら、下記により御推薦くださいますようお願い申し上げます。

なお、本研究科の内科、外科は大講座制をとっており、外科では同講座の他に外科学第一講座があり、消化器外科学全般及び乳腺内分泌外科を専門としています。

また、本研究科では、教員任期制を導入していることを申し添えます。

おって、候補者の方には選考の過程で御来学の上、面談及び御講演いただくこと、さらに、手術を見学（見学が不可の場合は、未編集のビデオ映像を送付）させていただく場合がありますので、あらかじめ御承知おきます。

謹言

記

1 提 出 書 類

- | | |
|---|-----|
| (1) 推薦書（A4判・縦型、様式自由） | 1 部 |
| (2) 履歴書（別紙様式1） | 1 部 |
| (3) 業績目録（別紙様式2） | 1 部 |
| (4) 過去3年間に術者及び指導医として行った手術の全記録の写し及びそのリスト
（※提出していただいた手術の記録は、選考以外の目的には一切使用いたしません。また、本学で責任を持って管理いたします。
応募される方の御判断になりますが、患者氏名等のプライバシーに関わる事項を黒塗又は削除していただいても結構です。） | 1 部 |
| (5) 公募による研究費受領状況一覧（別紙様式3） | 1 部 |
| (6) 研究及び臨床成果の概要と今後の展望
（A4判・縦型、2,400字以内、様式自由） | 1 部 |
| (7) 医学教育に対する取組みと抱負
（A4判・縦型、1,200字以内、様式自由） | 1 部 |
| (8) 主要論文別刷（20編以内） | 1 部 |

2 公 募 締 切 日 令和2年10月30日（金）消印有効

3 書 類 提 出 先 〒990-9585
山形市飯田西二丁目2-2
山形大学大学院医学系研究科長宛
(封書には「外科学第二講座教授公募書類在中」と朱書のこと。)

4 問 い 合 わ せ 先 山形大学医学部総務課人事担当
TEL 023-628-5005
FAX 023-628-5019
メールアドレス isojin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

(様式1)

履 歴 書

(令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日現在)

ふりがな 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇
氏 名: 〇 〇 〇 〇 〇 昭和 32 年 (1957) 〇 月 〇〇 日生 (〇〇歳) 男
(旧姓名: 〇 〇 〇 〇)

所属・職種: 〇〇大学〇〇学部〇〇学第二講座・准教授
〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇-〇〇
電 話: 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 (直通) FAX: 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
メール: 〇〇〇〇@〇〇〇〇〇-u.ac.jp

現 住 所: 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇-〇〇-〇〇〇号室 本籍: 〇〇〇県
電話: 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

学 歴: 昭和57年 (1982) 〇月 〇〇大学医学部医学科卒業
昭和〇〇年 (〇〇〇〇) 〇月 〇〇大学大学院医学研究科医学専攻入学
昭和〇〇年 (〇〇〇〇) 〇月 同 上 修了

免 許 等: 昭和57年 (1982) 〇月〇〇日 医師免許 (第〇〇〇〇〇〇号)
昭和〇〇年 (〇〇〇〇) 〇〇月〇〇日 厚生省〇〇〇〇〇〇資格認定医 (第〇〇〇〇〇号)
平成 〇年 (〇〇〇〇) 〇月〇〇日 日本〇〇学会認定〇〇医 (第〇〇〇〇号)
平成 〇年 (〇〇〇〇) 〇〇月〇〇日 日本〇〇〇〇学会認定指導医 (第〇〇〇〇〇号)
学 位: 昭和〇〇年 (〇〇〇〇) 〇月〇〇日 医学博士 (〇〇大学), または博士 (医学) (〇〇大学)

職 歴: 昭和〇〇年 (〇〇〇〇) 〇月〇〇日 国立〇〇病院医員 (研修医) (外科)
昭和〇〇年 (〇〇〇〇) 〇〇月〇〇日 同上 辞職
平成 〇年 (〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇大学医学部助手 (〇〇学第二講座)
平成 〇年 (〇〇〇〇) 〇〇月〇〇日 同上 辞職
平成 〇年 (〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇県立〇〇病院 (〇〇部)
平成 〇年 (〇〇〇〇) 〇月〇〇日 同上 辞職
平成 〇年 (〇〇〇〇) 〇〇月 〇日 米国〇〇〇〇〇〇〇大学研究員 (〇〇学)
平成 〇年 (〇〇〇〇) 〇月〇〇日 帰国
平成 〇年 (〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇大学医学部附属病院助教 (〇〇部)
平成 〇年 (〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇大学医学部講師 (〇〇学第二講座)
平成〇〇年 (〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇大学医学部准教授 (〇〇学第二講座)
現在に至る

所属学会等: 日本〇〇学会 (評議員: 平成〇年~現在)
日本〇〇〇学会
日本〇〇〇〇学会 (評議員: 平成〇年~現在)

賞 罰: なし

(様式2)

業 績 目 録 (枚のうち 枚目)

氏 名：

[原 著] ・ [症例報告] ・ [総 説] ・ [国際学会の Proceeding]

- ① Yamagata T, Beniya H, Sagae M : Malignant Clinical features of anaplastic gliomas without IDH mutation. Neuro Oncol 17. 2015 : 136—144.
(○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○, ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○, ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。)
- 2 Yamagata T, Beniya H, Sagae M, Turuoka S : Angiographic circulation time and cerebral blood flow during balloon test occlusion of the internal carotid artery.J Cereb Blood Flow Metab 34. 2014 : 136—43.
- 3 Yamagata T, Beniya H, Yonezawa E, Sagae M : Risk assessment for venous thromboembolism in patients with neuroepithelial tumors : pretreatment score to identify high risk patients. Neurol Med Chir(Tokyo)53. 2013 : 455-466.
- 4 山形太郎, 紅屋花子, 寒河江光政：パルスジェットメスを用いた蝶形骨縁髄膜腫摘出手術－血管温存能を活用して 脳神経外科 42. 2014 : 1019-1025.
- 5 上山洋一, 米沢恵美子, 山形太郎：脳腫瘍の最新治療法 Convection-enhanced delivery Clinical Neuroscience 31. 2013 : 1186-1187
- 6 Yamagata T, Beniya H, Yonezawa E, Sagae M : The role of surgery for anaplastic gliomas with IDH mutation. Neuro-Oncology, 15. 2013 : suppl 3, iii223

〔著書〕

- 1 Yamagata T, Beniya H, Sagae M, Turuoka S : The role of IDH1 and IDH2 mutations in malignant gliomas. In : Hayat MA, editor. Tumors of the central nervous system, vol.2. Springer 2011 : Gliomas : Glioblastomas (Part2).
- 2 山形太郎：緊急対応を要する脳腫瘍 神経救急診療の進め方 脳神経外科 診療プラクティス 4, 文光堂 2014, pp167.

[学会発表]

- 1 Yamagata T, Higashine O, Sagae M : The role of surgery for anaplastic gliomas with IDH gene mutation. (Poster) The 4th Quadrennial Meeting of the World Federation of Neuro-Oncology, 2013, San Francisco USA.
- 2 山形太郎, 寒河江光政 : 神経膠腫発生に関与する遺伝子異常 (プレナリーセッション) 第32回脳神経外科コンgres, 2012, 横浜

記入要領(様式2)

- 1 原著，症例報告，総説，国際学会の Proceeding，著書及び学会発表の順に，各項目に分けて記載してください。
- なお，印刷中（In Press）の論文については受理証明書を添付してください。
- 2 項目ごと英文を先，和文を後とし，年代の新しいものから順に記載してください。
- 3 具体的記載について
- (1) 原著，症例報告，総説，著書及び国際学会の Proceeding については，原則として記載例にならってください。なお，次の点にも御注意ください。
- ・ 雑誌の略誌名は，Index Medicus 及び医学中央雑誌に収載されているものに準じる。
 - ・ 全著者名を記入し，本人名には下線を付する。
 - ・ 主要論文（20編以内）に○印を付ける。また，主要論文には日本語で数行以内の概要を記入してください。
- (2) 学会発表については，全国規模の国内学会での特別講演，教育講演，シンポジウム等，及び国際学会で筆頭者として発表したものに限ります。

(様式3)

公募による研究費受領状況 (枚のうち 枚目)
(過去10年間)

氏 名:

年 度	種 目 (代表・分担の別)	研 究 課 題 名
2013	文部科学省科学研究費補助金 (萌芽) (代)	△△△△に関する研究
	〇〇生命厚生事業団助成金 (代)	▽▽▽▽に関する研究
2010	文部省科学研究費補助金 (基盤B) (2010年度～2013年度) (分)	□□□□に関する研究
	厚生省〇〇〇〇研究助成金 (2010年度～2012年度) (代)	〇〇〇〇に関する研究
	〇〇〇〇記念医学振興財団助成金 (代)	◇◇◇◇に関する研究